

学力向上

「学力向上」の基盤となる“家庭学習”について、立川市教育委員会は、「家庭学習に取り組もう！～家庭学習推進リーフレット～」を作成しました。

平成25年10月に、各学校を通じて各ご家庭に配付させていただきましたが、改めて〈表紙〉と〈裏表紙〉を掲載しますので、家庭学習の推進に向けて、各ご家庭で話題にさせていただきますようお願いいたします。

☎指導課・内線2499

立川市教育委員会〈平成25年10月〉

家庭学習に取り組もう！～家庭学習推進リーフレット～



①生活習慣を見直しましょう！ ～勉強は生活の一部～

- ① 早寝、早起き、朝ご飯の習慣を身に付けましょう。
- ② 排便は学校に行く前に済ませるような習慣を整えましょう。
- ③ 学校に持って行くものを確認して、忘れ物がないようにしましょう。
- ④ テレビを見たりゲームをしたりする時のルールを決めましょう。



②学習習慣を見直しましょう！ ～継続は力なり～

- ① 宿題は必ずやりましょう。
- ② 学習は、落ち着いた環境で行いましょう。
- ③ 毎日必ず学習しましょう。



③粘り強く取り組みましょう！ ～意志あるところに道は開ける～

- ① 自分で決めたことは、最後までやり抜くようにしましょう。
- ② 身の回りのことは、できるだけ自分でしましょう。
- ③ 家の手伝いや地域の役に立つことを続けて行いましょう。



④家族との触れ合いを大切にしましょう！ ～家族はサポーター～

- ① 学校での出来事を家族に話しましょう。
- ② 家族と食事をするなど、家庭で過ごす時間を大切にしましょう。
- ③ 学校や地域での活躍を家族に伝えましょう。

保護者の皆さまへ

家庭学習の意義

- 1 「授業の復習」 毎日復習することによって、学校での学習内容の定着を図ることができます。
- 2 「分かるからできる」 授業で分かったことが家庭学習によってできるようになり、学習に自信をもつことができます。
- 3 「授業の予習」 授業内容をあらかじめ学習しておくことによって、学習意欲をもって授業に臨むことができます。
- 4 「脳の活性化」 毎日学習に取り組むことによって脳が鍛えられ、脳の発達につながります。
- 5 「学習習慣の確立」 毎日学習することによって学習習慣が身に付き、学習する楽しさを味わうことができるようになります。
- 6 「我慢・根気・集中」 「テレビゲームを我慢する」「毎日続ける」「環境を整える」ことによって我慢する力・根気・集中力が養われ、様々なことに良い影響をもたらします。
- 7 「家族の触れ合い」 「音読を聞いてあげる」「丸付けをしてあげる」「分からないことを教えてあげる」などの関わりによって家族・親子の触れ合いが充実し、心の安定にもつながります。

家庭学習のポイント

- 1 毎日決まった時間に取り組ませる。(計画表を作成・活用します。)
- 2 集中して取り組ませる。(環境を整え、“ながら勉強”はさせません。)
- 3 正しい姿勢で取り組ませる。(理解力・集中力のアップにもなります。)
- 4 取り組んだこと、頑張ったことを認め、褒める。(やる気、意欲につながります。)
- 5 規則正しい生活習慣を確立させる。(学習は生活の一部です。)

体力向上

立川市の各学校では、児童・生徒の「体力向上」を目指し、「一校一取組」運動の充実を図っています。若葉小学校と立川第一中学校の取組を紹介します。

若葉小学校

若葉小学校では、12月に持久走大会を実施しています。休み時間、子どもたちは、一斉に校庭に出て音楽に合わせて走り始めます。最初は途中で歩き出していた児童も、練習を重ねることにより、一定のペースで走りきることができるようになります。そして大会当日。保護者や地域の方の温かい声援を受け、最後まであきらめずに走り抜きます。その姿に大きな拍手がわき起こり、子どもたちは達成感を感じることができます。

今後も進んで運動に取り組む児童を育成していきたいと考えます。



立川第一中学校

立川第一中学校では、10月～1月の火曜・木曜日の朝7時40分から30分間、中学生「東京駅伝」大会の代表選手の強化や育成、意欲ある生徒の体力づくりを目指して、朝マラソンに取り組み、現在は30名ほどが参加をしています。最初は30分間走ることができなかった生徒も、回を重ねるにつれ、楽に走りきれるようになり、ラップタイムを考えながら走ることができるようになりました。今後も、多くの生徒が走ることを楽しみにできるような取組としていきます。



安全教育

自然災害や交通事故、不審者など、児童・生徒を取り巻く危機は、いつどのような状況で発生するか分かりません。各学校では、様々な危機を想定し、“災害安全”“交通安全”“生活安全”の安全3領域に関する安全指導を行っています。一例として、上砂川小学校と立川第二中学校のセーフティ教室(非行防止と犯罪被害防止を目的とした取組)について紹介します。

上砂川小学校

上砂川小学校では、6月25日に、体験型教育プログラムを通じた安全指導を実施しました。講師には、ステップ総合研究所(NPO 体験型安全教育支援機構)のスタッフの方をお招きし、「は・ち・み・つ・じ・ま・ん」を合い言葉に、不審者から身を守るために気を付けることを、様々なケースを想定して実演をしていただきました。

児童が、実際に危険な場面に遭遇したときに、自ら考えて行動できる力を身に付けさせるプログラムを保護者と共に学び、有意義なセーフティ教室となりました。



立川第二中学校

立川第二中学校では、7月3日、東京都ファミリールール事務局の方に、「被害者にも加害者にもならない!ネット・ケータイの賢い使い方」と題した講演をしていただきました。ネットを使うときのマナーや危険性について理解を深め、正しく、安全に、責任をもって使う知識を学びました。

家庭においては、普段から心を育て、家庭でのルールを作っておくことが大切だということです。

意見交換では、生徒会役員の進行で、生徒から活発な質問や感想が述べられ、一人一人が自分の考えをもってセーフティ教室に参加しました。

